

未来を担う子どものための区民基礎調査

1 事業概要

少子化対策や今後の子育て施策の充実を図るため、当事者である子どもや保護者のニーズに加え、結婚・出産適齢期世代、シニア世代等の意識を把握するとともに人口推計やオープンデータ等と絡めた分析を行う。

2 背景課題

- ◆ 予想を超える急速な少子化
 - ◆ 子育て環境・社会的背景の変化
 - ◆ 区民の多様性(世代・ライフステージ等)
- ともに生きるま
ちの実現
- 幅広い区民の意識やニーズを把握し、区として真に必要な施策を重点的に
行う必要がある。

1 アンケート調査

- (1)調査対象
- ①就学前の子ども（0～6歳）のいる保護者 3,500世帯程度
 - ②18歳未満の子ども 2,500人程度
 - ③就学後の子ども（7～18歳）のいる保護者 2,500世帯程度
 - ④結婚・出産適齢期世代 2,500人程度
 - ⑤シニア世代 2,500人程度

(2)調査方法 郵送による発送、インターネット・紙による回収

(3)調査項目 結婚に対する意識、子を持たない理由、理想とする出産適齢期や子供の数、家事・育児時間、保育園・幼稚園の利用状況や希望、ヤングケアラー、子どもの権利の認知度、少子化に対する危機感など

2 人口推計 区内12圏域別、年齢区分別（18歳未満はさらに細分化）

3 集計・分析 アンケート結果・オープンデータ・各種指標等の分析

※本調査には、子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査項目を含む。

4 概算費用

17,160千円

5 特定財源

0千円

子育て支援課